



令和4年7月号 No.84
砂川市病児・病後児保育施設
Tel 0125-54-2278

気をつけたい

感染症



アデノウイルス感染症ってなに？

アデノウイルスと一口に言っても、50種類の血清型があり、感染するウイルスの種類によって出現する症状が異なり、疾患の名称も変わってきます。共通点としては、アデノウイルス感染症はいずれも潜伏期間が5～7日程度であることが多く、主に扁桃腺や気道に感染を起こしますが、腸炎を起こすこともあります。



アデノウイルス感染症にはどんな種類がある？

【咽頭結膜熱（プール熱）】

咽頭結膜熱は高熱が平均で4～5日ほど持続し、熱が1日の間で変動しやすい(37～40度で推移)のが特徴です。症状はのどの痛み、高熱、眼の充血が主症状です。扁桃に膿のような所見が出ることも多いです。ポイントは、迅速検査でアデノウイルスが検出されたら咽頭結膜熱となるのではなく、発熱に加え、眼の充血など結膜炎の症状もみられる場合のみ咽頭結膜熱と診断されます。出席停止になる感染症の一つで、主要症状がなくなった後、2日間登校禁止となります。



【流行性角結膜炎（はやり目）】

咽頭結膜熱のように高い熱は出ませんが、眼の充血、眼脂（目やに）が目立ちます。こちらも出席停止となる感染症の一つです。症状が治癒し、かつ、医師の診察において伝染の恐れがなくなるまで登校禁止となります。



暑い季節がやってきました。暑い日が続くと体力が落ちたり、睡眠が不十分になり夏バテしやすくなります。栄養と睡眠を摂り体力を蓄えましょうね。夏風邪の代表であるエンテロウイルスやアデノウイルスなどは高温多湿を好みます。そして、感染すると下痢や腹痛・激しい咳などの症状が見られます。他にも、「ヘルパンギーナ」「手足口病」「プール熱」など夏にかりやすい病気です。手洗いやうがいを、しっかりと食事をとる、



身体は冷やしすぎない、早寝早起きを心掛けるなど、体の免疫力を高めて予防をしていきましょう。



病児・病後児保育の様子



先月は急性上気道炎・中耳炎、アデノウイルス感染症などでの利用がありました。

